

第47回全国自衛隊剣道大会について

盛夏の候、各部隊におかれましては、日々任務に邁進されていることと存じます。

昨年春からの新型コロナウイルスの影響で、本年2月に開催を予定しておりました第46回全国自衛隊剣道大会は、ウイルス感染による部隊の任務への影響を考慮して、中止したことは周知のとおりです。

現在、全国民へのワクチン接種が進められ、今後事態の好転が見積もられることから、今年度の第47回全国自衛隊剣道大会を令和4年2月26日（土）、27日（日）の両日にわたり陸上自衛隊朝霞駐屯地にあります自衛隊体育学校球技体育館において開催したいと考えております。

大会の実施に当たっては、感染防止を第一とし、全日本剣道連盟から発出されている「主催大会実施にあたっての感染拡大予防ガイドライン（令和2年8月27日）」を遵守し、三密を回避する観点から、

- ・ 例年8個試合場で行っていた大会を4個試合場で実施
- ・ 団体戦の同一基地・駐屯地からの参加チーム数を2個チーム以下に制限
- ・ 個人戦男子六段以上の部の参加者数の制限（細部検討中）
- ・ 審判は主として東京近郊在住者に依頼
- ・ 来賓、大会役員、審判、係員、監督、選手及び補欠以外の会場内への立入禁止等、例年と異なる形での開催を予定しております。

しかしながら、現時点においても東京都と沖縄県に緊急事態宣言が、他のいくつかの府県においてもまん延防止等重点措置が引き続き実施され、自衛隊においても稽古が禁止・制限されている部隊が多数あり、移動の制限もあると聞いております。

このような状況を考慮し、最終的な大会実施の判断及び実施要綱の決定は、今年10月の役員会で行うことにしていますが、各部隊におかれましては引き続き任務優先で勤務されるとともに、この大会をひとつの目標とされることを希望します。

令和3年8月1日

全国自衛隊剣道連盟 会長 杉本正彦